

ナノマテリアル情報提供シート (記載例及び記載上の注意)

提出年月日	年一回程度、情報の更新をお願いする予定です。
材料名	CNT、二酸化チタン、カーボンブラック、フラーレン、酸化亜鉛、シリカの別を記載願います。なお、上記6物質以外の情報提供も歓迎します。
事業者名	情報提供を行う事業者名を記載してください。原則個別企業単位としますが、業界団体単位での提出希望がございましたら、ご相談下さい。
法人番号	情報提供を行う事業者の法人番号を記載してください。原則個別企業単位としますが、業界団体単位での提出希望がございましたら、ご相談下さい。

事業者において二物質以上のナノマテリアルを製造している場合には、物質毎にシートを作成してください。なお、試験研究用途については、対象としません。

作成上の注意

1. 本制度の趣旨は、現時点でナノマテリアル製造事業者等が保有する情報について提供をお願いするものであり、新たに試験・計測等を行うことを求めるものではありません。
2. ナノマテリアル製造事業者等が保有していない情報については、記載する必要はありません。
3. 公表の可否について、項目毎に選択してください。
4. 計測手法については必ずしも標準化されていないため、ナノマテリアル製造事業者等が独自に開発した手法等であっても、測定法の概要を明示した上で記載することができます。
5. 既存資料等の添付によって代用することも可能です。

連絡先:					
項目	概要	添付資料	備考 (測定方法等)	公表の可否	
1. SDSの添付		代表的な製品のSDSを添付してください。 (SDS以外にも、自主的に作成されている安全指針等も可。)			
※代表的な製品のSDSを添付		添付有			
2. ナノマテリアルの特性		代表的な製品について記載。情報を保有していない、測定不能等の場合には、当該項目をエクセル上で行毎削除してください。			
特性	ナノマテリアルの特性について可能な範囲で記載してください。(例：紫外線遮蔽効果、電子的特性等) (ナノオーダーのサイズに由来する特性だけではなく、微粒子であることに由来する性質についても記載。)	添付有	本シートの外に、参考資料を添付される際は、「添付有」を選択してください。 (公開情報であれば、出典等を記載)	経済産業省HP上で公開できない情報については、「非公表」を選択してください。	
有害性情報	事業者が保有する有害性情報等について記載。学术论文等公開されている情報があれば、出典等を記載してください。(当該物質の一般的な(ナノサイズかどうか)に依らず、粉じんとしての)有害性情報についても併せて記載。)	添付有			
結晶構造	例：乱層黒鉛構造	添付無			
凝集状態／分散状態	根拠となるデータが存在しない場合、定性的な記載でも可とします。(例：製剤中や空気中ではミクロンオーダーの凝集状態で存在し、容易に一次粒子に分解しない、等)	添付有		グラフ等を添付してください。凝集状態を示す電子顕微鏡写真等があれば添付してください。	
粒度分布	グラフ等を添付してください。	添付有	測定方法、測定原理等を記載してください。		
平均一次粒径	記載例：製品のグレードにより異なるが、20-80nm程度	nm	添付有	測定方法、測定原理等を記載してください。	
製品粒径	記載例：製品のグレード、表面処理等により異なるが、1μm程度	nm	添付有	測定方法、測定原理等を記載してください。	グラフ等を添付。凝集状態を示す電子顕微鏡写真等があれば添付。

製品形状	製品中における粒子の形状を記載してください。一次粒子の形状については、球状、針状等、凝集体として存在する場合であれば繭状、不定形等と記載してください。また、製品の外観（粉体状、スラリー状、樹脂に混練）も併せて記載して下さい。	添付有		
密度	製品中の嵩密度を記載してください。嵩密度についてデータがない場合には、真密度について記載して下さい。	g/cm ³		
比表面積		m ² /g		
表面電荷	測定データがあれば記載してください。	mV		
化学組成	例：炭素、二酸化チタン、酸化亜鉛、二酸化ケイ素等			
その他物理化学的特性（気孔率、拡散、重力沈降、収着、湿式及び乾式移動、酸化還元と光化学反応の影響、土壌中の移動性等）	その他物理化学的性状について、データがあれば記載してください。			

3. ばく露情報

(1) 製造・輸入に関する情報				
		物質毎の合計量を記載してください。（品種毎の内訳等は必要ありません。）		
製造・輸入量 (年度毎)	例： 1 2 0 0 (平成 2 8 年度)	t	平成28年度のデータを記載してください。	製造量 非公表
			非公表データとしますので、「製造量」又は「輸入量」を記載してください。	
製造・輸入量 (年度毎・概数)	1,000-10,000 t			製造量
			「生産能力」も選択可能ですが、出来る限り「製造量」又は「輸入量」を記載してください。	

(2) ばく露情報

代表的な用途について記載してください。用途開発中等、ごく少量のみが使用されている用途については、記載する必要はありません。

主な用途	主な用途① 用途分類 18 詳細分類 a			
	主な用途② 用途分類 09 詳細分類 e			
	主な用途③ 用途分類 45 詳細分類 f			非公表
	主な用途④ 用途分類 04 詳細分類	用途、詳細用途については、別紙分類コードから選択してください。		
	主な用途⑤ 用途分類	詳細分類		
製造・加工施設及びプロセス	製造プロセスの概略図を添付してください。反応温度等、プロセスの詳細に関わる事項は記載する必要はありません。		添付有	
労働者のばく露情報 (ばく露対象者、ばく露活動・時間等)	ばく露の可能性のある作業（包装作業等）に従事する作業者の数、延べ作業時間等を可能な範囲で記載してください。		添付有	「4. リスク評価・管理の状況」と重複する内容(ばく露防止対策等)を追記することも可。
環境排出量	モニタリング等により、排出量を直接把握、マテリアルバランスにより排出量を推計、廃棄物の量を記載するなど、可能な範囲で記載してください。		添付有	推計方法を明記してください。
計測技術と計測結果	作業環境中でのモニタリング結果を添付。ナノサイズの粒子に特化した測定が行われていない場合には、労働安全衛生法等に基づく粉じん測定の結果等、既存の測定データを添付してください。		添付有	測定結果について、数値を記載できない場合には、「管理区分1」程度の結果でも可。

4. リスク評価・管理の状況

リスク評価結果	ガイドライン等に沿って、ナノマテリアルに特化したリスク評価を実施している場合、その旨と具体的な内容についても記載してください。		添付有	
ばく露・排出抑制対策	ナノマテリアルに特化したばく露・排出抑制対策が行われていれば、その旨記載してください。なお、労働安全衛生法（粉じん則）、厚生労働省局長通知等に基づいた対策を実施している場合、その旨と具体的な対策の内容についても記載してください。		添付有	
労働者への教育	ナノマテリアルに特化した労働者への教育が行われていれば、その旨記載してください。また、労働安全衛生法等、既存の規制に基づくものであっても、ナノマテリアルのばく露防止対策に共通して有効であると考えられる場合には、その内容も記載してください。		添付有	

<p>今後の対策等のロードマップ</p>	<p>上記対策の他に、今後実施予定の対策等があれば、その内容について記載してください。</p>	<p>添付有</p>		
<p>5. ナノマテリアルの性質等に関する事業者のコメント（ユーザに対するアドバイス等）</p>				
	<p>安全性だけでなく、ナノマテリアルについて、その特性を活かした将来の可能性等やユーザーに取り扱っていただく際のアドバイス等、自由に記載してください。</p>	<p>添付有</p>		
<p>6. その他</p>				
	<p>その他、事業者として記載すべきことがあれば、自由に記載してください。</p>	<p>添付有</p>	<p>本報告様式で公開する情報を引用する場合に、事業者の許可が必要であれば、その旨記載してください。</p>	

化学物質用途分類表

用途分類コード (#)	用途分類	詳細用途分類コード	詳細用途分類
中間物			
1	中間物	a	合成原料、重合原料、前駆重合体
		b	重合開始剤
		z	その他
溶剤			
2	塗料用・ワニス用・コーティング剤用・印刷インキ用・複写用・殺生物剤用溶剤	a	塗料用溶剤、塗料希釈剤
		b	塗料剥離剤
		c	ワニス用溶剤
		d	コーティング剤用溶剤、レジスト塗布用溶剤
		e	印刷インキ用溶剤、電子デバイス用溶剤、インキ溶剤、インキ洗浄剤
		f	殺生物剤用溶剤
		z	その他
3	接着剤用・粘着剤用・シーリング材用溶剤	a	接着剤用溶剤、粘着剤用溶剤
		b	接着剤剥離剤、糊剥離剤
		c	接着用溶剤
		d	シーリング材用溶剤
		z	その他
4	金属洗浄用溶剤	a	金属洗浄用溶剤
		z	その他
5	クリーニング洗浄用溶剤 〔洗濯業での用途〕	a	ドライクリーニング溶剤
		b	染み抜き剤、ドライクリーニング溶剤抽出剤
		z	その他
6	その他の洗浄用溶剤 〔#04.05を除く〕	a	フトレジスト現像用溶剤、レジスト剥離剤
		z	その他
7	工業用溶剤 〔#02-06の溶剤を除く〕	a	合成反応用溶剤
		b	紡糸用溶剤、製膜用溶剤
		c	抽出溶剤、精製溶剤
		d	希釈溶剤
		z	その他
8	エアゾール用溶剤	a	エアゾール噴射剤、希釈剤
		z	その他
9	その他の溶剤	a	その他の溶剤
溶剤以外			
10	化学プロセス調節剤	a	触媒、触媒担体
		b	イオン交換樹脂、イオン交換膜、分離膜、隔膜
		c	分散剤、乳化剤
		d	重合調節(停止)剤、重合禁止剤、安定剤
		e	光学分割剤
		z	その他
11	着色剤(染料、顔料、色素、色材) 〔#13.14.16.17.30.31.34を除く〕	a	着色剤(染料、顔料、色素、色材)
		b	蛍光増白剤
		c	発色剤、発色助剤
		z	その他
12	食品添加物、器具及び容器包装、おもちゃ、洗浄剤 〔洗浄剤は野菜、野菜、果実又は飲食器用に限り〕 【食品衛生法に規定されるもの】	a	食品製造用剤(加工助剤)
		b	食品添加物(12-a以外)及びその製剤用剤
		c	器具及び容器包装用材料及び添加剤
		d	おもちゃ用材料及び添加剤
		e	洗浄剤用材料及び添加剤
		z	その他
13	水系洗浄剤1 《工業用途》 〔#30.31を除く〕	a	石鹼、洗剤(界面活性剤)
		b	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		c	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(消泡剤等)
		d	防錆剤
		z	その他
14	水系洗浄剤2 《家庭用・業務用の用途》	a	石鹼、洗剤、ウインドウシヤナー液(界面活性剤)
		b	柔軟剤(界面活性剤)
		c	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		d	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(酵素、蛍光増白剤等)
		z	その他
15	ワックス	a	ワックス(床用、自動車用、皮革用等)
		b	乳化剤、分散剤
		z	その他
16	塗料、コーティング剤 〔プライマーを含む〕	a	塗料用樹脂、コーティング剤用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、色素、色材、光輝剤)
		c	熱・光硬化塗料のモノマー・オリゴマー
		d	架橋剤、硬化剤、光重合開始剤、バインダー成分
		e	可塑剤、充填剤
		f	安定化剤(酸化防止剤等)
		g	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤
		h	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、表面調整剤、造膜助剤
		i	腐食防止剤、防錆剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤
		j	乾燥促進剤、湿潤剤、難燃剤、撥水剤
		z	その他
17	印刷インキ、複写用薬剤(トナー等) 〔筆記用具、レジストインキ用を含む〕	a	インキ用樹脂、トナー用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、色素)、感熱色素、感圧色素、顔色剤
		c	紫外線・電子線硬化インキのモノマー・オリゴマー、増粘剤
		d	可塑剤、充填剤
		e	安定化剤(酸化防止剤等)
		f	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤
		g	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、造膜助剤
		h	電荷制御剤、流動性付与剤、研磨性付与剤、滑り性付与剤
		i	乾燥促進剤、湿潤剤
		z	その他
18	船底塗料用防汚剤、漁網用防汚剤	a	防汚剤用樹脂〔添加剤も含む〕
		b	船底塗料用防汚剤
		c	漁網用防汚剤
		z	その他
19	殺生物剤1 〔成形品に含まれ出荷されるもの〕	a	殺菌剤、殺虫剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤(細菌増殖抑制剤、木材の防腐剤、防蟻剤)
		b	展着剤、乳化剤
		z	その他
20	殺生物剤2 〔工程内使用で成形品に含まれないもの〕 《工業用途》	a	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤)
		b	ガス滅菌剤、熏蒸剤、燻煙剤
		c	殺菌剤、消毒剤、防腐剤、抗菌剤
		d	展着剤、乳化剤
		z	その他
21	殺生物剤3 《家庭用・業務用の用途》	a	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤)
		b	繊維用・紙用防虫剤(熏蒸剤、燻煙剤等)

用途分類コード(#)	用途分類	詳細用途分類コード	詳細用途分類
		c	シロアリ駆除剤、防蟻剤
		d	殺菌剤、消毒剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤、除菌剤
		e	非農耕地用除草剤
		f	農着剤、乳化剤
		z	その他
22	農業 【農業取締法に規定されるもの】	a	農薬の有効成分、製剤用材料及び補助剤
		z	その他
23	医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器 【動物用を含む】 【薬事法に規定されるもの】	a	医薬品(23-b、c以外)の有効成分、製剤用基剤及び添加剤
		b	滅菌・消毒及び体外診断用医薬品の有効成分、製剤基剤及び添加剤
		c	衛生害虫(わずみ、はえ、蚊等)の防除用医薬品及び駆除又は防止用医薬部外品の有効成分、製剤基剤及び添加剤
		d	内用品用医薬部外品の有効成分、製剤用基剤及び添加剤
		e	外用品用医薬部外品(23-c以外)の有効成分、製剤用基剤及び添加剤
		f	化粧品用の基剤及び添加剤
		g	医療機器(機械器具、歯科材料、医療用具及び衛生用品)用材料及び添加剤
		z	その他
24	肥料 【肥料取締法に規定されるもの】	a	肥料の有効成分及び添加物
		z	その他
25	飼料及び飼料添加物 【飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律に規定されるもの】	a	飼料添加物
		z	その他
26	火薬類 【煙火を含む】	a	火薬、爆薬、火工品(26-bを除く)、煙火
		b	自動車安全部品用ガス発生剤
		z	その他
27	芳香剤、消臭剤	a	香料
		b	芳香剤
		c	消臭剤
		z	その他
28	接着剤、粘着剤、シーリング材	a	接着剤用樹脂、粘着剤用樹脂、シーリング材用樹脂
		b	バンダー成分(プレポリマー、硬化剤、開始剤、カップリング剤)
		c	可塑剤、充填剤、硬化促進剤
		d	安定化剤(老化防止剤等)
		e	防腐剤、防かび剤、抗菌剤
		f	難燃剤、導電剤
		z	その他
29	フォトレジスト材料、写真材料、印刷版材料	a	感光性・感電子性樹脂(フォトレジスト、印刷版等)
		b	感光性・感電子性樹脂のモノマー・オリゴマー
		c	感光剤、電子写真感光体、光重合開始剤
		d	色素形成カラー(カラー写真用)
		e	乳化剤、分散剤
		f	定着剤、安定剤
		g	増感剤、減感剤、架橋密度向上剤、レジスト添加剤
		h	現像剤、水溶性処理薬品
		z	その他
30	合成繊維、繊維処理剤 【不織布処理を含む】	a	成形品基材(合成繊維、不織布)
		b	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤
		c	集束剤
		d	防炎剤、難燃剤
		e	含浸補強剤、染料固着剤(フィックス剤)
		f	防蟻防止剤、親水剤
		g	柔軟仕上げ剤
		h	形態安定加工剤
		i	撥水剤、撥油剤、防水加工剤、防汚加工剤
		j	抗菌防臭剤、変色防止剤、紫外線吸収剤
		k	紡糸・紡績・繰糸油剤、紡糸・紡績・繰糸油助剤
		l	洗淨剤、精練洗淨剤(ソーピング剤)、潤滑剤
		m	エレート剤
		n	漂白剤、抜染剤
		o	均染剤、浸透剤、促染剤(染色助剤)、媒染剤、捺染用糊剤
		p	分散剤、乳化剤、消泡剤
		q	マーセル化助剤
		r	糊抜き剤
		z	その他
31	紙・パルプ薬品	a	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤
		b	サイズ剤、定着剤、填料
		c	コーティング剤
		d	防炎剤、難燃剤、帯電防止剤
		e	含浸補強剤、歩留向上剤、固着剤(フィックス剤)
		f	撥水剤、撥油剤、防水加工剤
		g	高濁剤、柔軟剤、pH調節剤
		h	蒸解薬液
		i	スライムコントロール剤(防腐剤)、ピッチコントロール剤
		j	漂白剤、漂白剤安定剤
		k	分散剤、乳化剤、消泡剤、脱墨剤、洗淨剤
		z	その他
32	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	a	成形品基材(プラスチック、合成皮革、合成紙、発泡体)
		b	高吸水性材料
		c	可塑剤、分散剤
		d	安定化剤(酸化防止剤等)
		e	充填剤、希釈剤
		f	結晶核剤
		g	内部離型剤
		h	防曇剤、流滴剤
		i	難燃剤、帯電防止剤
		j	滑剤、外部離型剤
		k	発泡剤
		l	注製用・注入発泡用材料(モノマー・プレポリマー等)
		m	硬化剤、架橋剤(FRP用モノマー等)、架橋助剤
		n	硬化促進剤
		y	その他の添加剤(改質剤等)
		z	その他
			[#16,17,28,30,33を除く] [着色剤は#11]
33	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	a	成形品基材(エラストマー(合成ゴム))
		b	加硫促進剤、加硫促進剤助剤(加硫活性化剤)
		c	加硫剤、架橋剤、架橋助剤
		d	可塑剤、補強剤(接着促進剤等)、充填剤
		e	安定化剤(老化防止剤等)
		f	スコーチ防止剤、素練促進剤、内部離型剤
		g	ラテックス凝固剤、乳化剤、沈降防止剤
		h	難燃剤、帯電防止剤
		i	滑剤、外部離型剤
		j	発泡剤

用途分類コード(#)	用途分類	詳細用途分類コード	詳細用途分類
		k	コム再生剤(脱硫剤等)
		y	その他の添加剤(改質剤等)
		z	その他
34	皮革処理剤	a	なめし剤
		b	仕上げ加工薬剤(漂白剤、着色剤、着色助剤、撥水剤、撥油剤、油剤、脱脂剤、加脂剤等)
		c	準備工程(なめし前)薬剤(脱脂剤、脱灰剤等)
		z	その他
35	ガラス、ぼうろウ、セメント	a	ガラス原料
		b	ガラス添加剤(結晶化剤、強化剤、集束剤、結合剤、防曇剤、紫外線カット剤、電磁波遮蔽材、鏡裏打ち材等)
		c	ガラス加工助剤(離型剤、pH調節剤等)
		d	ぼうろウ原料
		e	ぼうろウ添加剤
		f	ぼうろウ加工助剤
		g	セメント原料
		h	セメント添加剤
		z	その他
36	陶磁器、耐火物、ファインセラミックス	a	陶磁器原料、耐火物原料、ファインセラミックス原料
		b	陶磁器添加剤、耐火物添加剤、ファインセラミックス添加剤(焼結助剤等)
		c	成形助剤(バインダー、増粘剤、可塑剤、潤滑剤等)
		d	滑剤、離型剤等
		z	その他
37	研削砥石、研磨剤、摩擦材	a	研削砥石原料、研磨剤原料、摩擦材原料
		b	研削砥石・研磨剤・摩擦材添加剤(バインダー、増粘剤、研磨助剤、分散剤、摩擦調整剤、潤滑材等)
		c	滑剤、離型剤
		z	その他
38	金属原料、合金原料、鑄造用資材	a	金属原料、合金原料
		b	フラックス、接種剤
		c	鑄造用粘結剤、鑄造用硬化剤、鑄造用添加剤
		d	離型剤
		z	その他
39	表面処理剤	a	めっき薬剤(皮膜成分)
		b	真空めっき(蒸着等)薬剤、溶射処理薬剤
		c	化成処理薬剤
		d	表面酸化処理(浸炭、窒化等)剤
		e	表面フッ素化処理剤
		f	めっき溶液添加剤(光沢付与剤、煙霧防止剤等)
		g	エッチング処理薬剤、スパッタリング処理薬剤、ブラスト処理薬剤
		z	その他
40	溶接棒、はんだ、溶断用材料	a	溶接棒フラックス
		b	はんだ用酸化防止剤
		c	溶接用ガス、溶断用ガス
		z	その他
41	作動油、絶縁油、プロセス油、潤滑油剤(エンジン油、軸受油、圧縮機油、グリース等)	a	作動油の基油、潤滑油剤の基油
		b	絶縁油の基油
		c	プロセス油の基油
		d	グリース増ちょう剤
		e	作動油添加剤、潤滑油剤添加剤
		f	絶縁油添加剤
		g	プロセス油添加剤
		z	その他
42	金属加工油(切削油、圧延油、プレス油、熱処理油等)、防錆油	a	水溶性金属加工油の基油
		b	不水溶性金属加工油の基油、防錆油の基油
		c	水溶性金属加工油添加剤
		d	不水溶性金属加工油添加剤、防錆剤添加剤
		z	その他
43	電気・電子材料 [対象部品等の製造用プロセス材料を含む]	a	磁性材料[#43-(イ)を除く]、圧電材料、導電材料、超伝導材料、蛍光体材料
		b	半導体材料、ダイオード材料(LED等)、太陽電池材料、液晶材料、有機EL材料
		c	誘電体材料、抵抗体材料、電解質材料、電解液材料、セパレータ
		d	光学フィルム材料
		e	封止材、絶縁材料、シールド材料
		f	電子記憶媒体材料(磁性材料、光吸収色素等)
		z	その他
44	電池(一次電池、二次電池)	a	電解質材料、電解液材料、導電剤、絶縁材料、セパレータ
		b	電極材料(集電体、バインダー等)、減極剤
		z	その他
45	水処理剤	a	腐食防止剤、防錆剤、防食剤、防スケール剤
		b	硬水軟化剤
		c	金属イオン封鎖剤(キレート剤等)、金属イオン除去剤(金属補足剤)
		d	イオン交換樹脂、イオン交換膜、分離膜、隔膜
		e	pH調節剤、消泡剤、凝集剤、濾過・脱水助剤、イオン交換樹脂再生剤
		z	その他
46	乾燥剤、吸着剤	a	乾燥剤、脱水剤
		b	吸着剤(脱臭剤、脱硝剤、ガス吸着剤等)
		c	吸収剤(脱酸素剤等)
		z	その他
47	熱媒体	a	冷媒、冷却剤
		b	熱媒、加熱剤
		z	その他
48	不凍液	a	不凍液(LLC等)
		b	防錆剤、防食剤
		z	その他
49	建設資材添加物(コンクリート混和剤、木材補強含浸剤等)	a	表面硬化剤
		b	強化剤、減水剤
		c	離型剤、消泡剤
		d	補強含浸剤、木質板添加剤
		e	防汚剤(船底塗料用・漁網用以外の撥水剤等)、防水剤、撥水剤
		z	その他
50	散布剤、埋立処分処理薬剤(融雪剤、土壌改良剤、消火剤等)	a	凍結防止剤(融雪剤等)
		b	土壌改良剤、地盤改良剤
		c	消火剤
		d	人工降雨剤
		e	油処理剤
		f	粉塵結合剤、粉塵防止剤、煤塵処理剤
		z	その他
51	分離・精製プロセス剤 《鉱業、石油精製、金属製造での用途》	a	浮遊凝集剤、浮遊抑制剤、凝集剤、金属浸出剤
		b	金属捕集剤
		c	濾過補助剤(脱膜助剤等)
		z	その他

[抽出・精製溶剤は#07]

用途分類コード (#)	用途分類	詳細用途分類コード	詳細用途分類
52	燃料、燃料添加剤	a	燃料
		b	燃料添加剤(清浄分散剤、酸化防止剤、粘度指数調整剤、摩擦低減剤、防錆剤等)
		c	燃焼改良剤(燃焼促進剤、セタン値向上剤、アンチノック剤等)
		d	氷結防止剤、着臭剤
		z	その他
	上記以外		
98	その他の原料、その他の添加剤	a	その他の原料、その他の添加剤
99	輸出用	a	輸出用